

平成 30 年 2 月 22 日時点

所管課	健康管理課	担当班	支援班
-----	-------	-----	-----

(1) 事務事業の概要			
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・保健推進員が塩分濃度測定器を用いて家庭で作られた味噌汁の塩分濃度を測定し、減塩に関するパンフレットの配布を行って啓発を行う。 ・保健推進員が学校や地区の集会などの場を利用して、健康メニューの試食提供や紙芝居を行って、健康づくりの知識を広く市民に伝える。 ・小さいころから自らの食について、考える習慣や知識を習得するために食育事業を行う。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
昭和58年に婦人の健康づくり推進事業に食生活改善推進員の教育事業が加わり、さらに平成9年地域保健法により義務化されたため。旧市町での開始時期は不明。	・平成15年に栄養改善法が廃止され、健康増進法に移行された。 ・平成17年に食育基本法が施行された。 ・対象者は、生活活動量の減少や食生活の欧米化が進み、生活習慣病とその予備群が大幅に増加している。 ・ほとんどの推進員が1期で交代するため、知識や経験が不足しがちである。	・地区伝達活動を実施した学校や地区高齢者グループから好評を得ている。 ・次年度もまた開催してほしい等の要望がある。 ・地区伝達活動実施後、別の場所でも会って参加者から推進員に声をかけてくれる。	

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位:千円
1.消耗品費	193	地区食生活改善活動材料代等
2.手数料	51	腸内細菌検査手数料
3.通信運搬費	14	腸内細菌検査容器郵送代
4.通送料及び駐車料	6	千葉県食生活改善協議会中央研修会道路通行料
5.その他	86	バス・テント借上料
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	
前年度増減理由	28年度は市バスの予約が取れず、流用により民間バスを借り上げたため。	

従事職員数 常時 1 人 最大 2 人 × 1 日 = 延べ 2 人

① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)		
手段	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・家庭の汁物塩分濃度測定を実施し、減塩の啓発を行う ・学校や地区集会などの機会を利用し健康メニューの試食提供や健康教育(講話等)の実施 ・産業まつりにおいて、塩分濃度の違うみそ汁を試飲、比較して味覚チェックを実施。参加者にしょうゆ用スプレー容器を配布し啓発を行った。		ア	地区伝達講習会等の実施回数	回	18	19	18	21	20
		イ	食育学習の実施回数	回	12	11	8	7	8	
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)		
対象 意図	市民		ア	地区伝達講習会等への参加者数	人	938	1,125	1,062	1,138	1,000
	市民が望ましい食生活を実践できるようになる。		イ	塩分が原因となる疾病がある人の割合 (収縮期血圧基準値以上の者)	%	40.3	41.4	41.2	44.2	44.0

①成果優先度評価結果					②コスト削減優先度評価結果				
		成果向上余地					コスト比率		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない			下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
施策貢献度	大きい				評価結果	①			
	普通		⑤			②			
	小さい					③			
						④⑤	(4)		
						⑥			
						⑦⑧			
						⑨			

年度	ア (比率)	イ (比率)
H25	44.5	40.0
H26	45.5	41.5
H27	45.0	41.0
H28	45.8	44.5
H29 計画	44.5	44.0

評価内容	① 進捗状況 ☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難													
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)													
	② 成果の状況													
	【コメント】 (低下の場合、その理由)													
	成果指標ア 成果指標イ	成果指標 のタイプ	数値増＝成果向上 数値減＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	比較 成果動向	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29計画				
			平成28年度に国保特定健診未受診者対策として受診勧奨に力を入れ、新規の受診者が増加したため。健診を受けたことのない新規受診者は、それまで自身の健康状態を知ることや指導を受ける機会がほとんどないことから、健康について意識することが少なく、検査数値が高い傾向にあるため。		ア イ	84 △0.3	187 1.1	△63 △0.2	76 3.0	△138 △0.2				
	③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)													
	時期	内容	今後の方向性											
	①9月中旬	①市内の高校生を対象に生活習慣病予防の調理実習及び講話を行う(テキストや塩分測定器も使用し、減塩推進にも取り組む)	今後の方向性	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()										
	②11月12日	②産業まつりにて汁物の試飲等を実施し、減塩啓発活動を行う		日本人の食塩摂取量への寄与が最も大きい醤油の使用量を減らすため、イベント参加者にしょうゆ用スプレー容器を配布し啓発を行う										